

初雁公園本丸御殿周辺広場整備 発掘調査の状況及び整備内容について

初雁公園整備事業につきましては、平成31年3月に策定した川越市初雁公園基本計画に基づく段階的整備の第1段である短期整備として本丸御殿周辺の広場整備を実施しているところです。

令和3年10月末までに広場整備の前提となる発掘調査が概ね完了しましたので、発掘調査の状況と発掘調査等を踏まえた本丸御殿周辺広場整備の内容を次のとおりお知らせします。

市制施行100周年となる令和4年12月に広場の供用ができるよう事業を進めてまいります。

1 発掘調査の状況（別紙1参照）

発掘調査につきましては、事業の進捗や周辺への影響を考慮しながら実施可能な箇所から順次行い、令和元年9月中旬から開始し、本年10月下旬に概ね完了いたしました。

発掘調査では、川越城の絵図にある「堀跡」や「土塁跡」の痕跡及び本城住居絵図にある「北門」、「^{じゅうにんべや}拾人部屋」、「本丸御殿前の構え（仮称）」の建物跡の痕跡が確認できました。

2 広場の整備内容（別紙2参照）

発掘調査の内容を踏まえた広場整備につきましては、本丸御殿周辺に盛土を行い、往時の地盤の高さに整えるとともに、土系舗装などを使用することで往時の趣を感じられるものといたします。また、発掘調査により「拾人部屋」があった場所が特定できましたので、その場所に相応しい休憩所（^{あずまや}四阿）を整備し、市民や観光客の方が安らぐことができる場といたします。

さらに、「北門」や「土塁」、「本丸御殿前の構え（仮称）」につきましては、発掘調査により位置の確認ができましたので、広場の供用開始時には遺構の表示等を行い、皆様の関心を高められるようにいたします。